



ホア ビン (平和)

HOA BINH LE PORT

JVPF 内閣府認証 特定非営利活動法人 日本ベトナム平和友好連絡会議(日越友好連)
NPO Japan Vietnam Peace and Friendship Promotion Council

〒162-0801 東京都新宿区山吹町333番地 辻ビル405 TEL 03-3268-4387 FAX 03-3268-6079
c/o. IFCC.#405, TsujiBLD, 333, Yamabuki-cho, shinjuku-ku, Tokyo, Japan TEL(81)3-3268-4387/FAX(81)3-3268-6079
http://ifcc1985.com info@ifcc1985.com



会費/正会員:(個人)5,000円 (団体)50,000円 口座名/日本ベトナム平和友好連絡会議
◎郵便振替 00110-2-188872 ◎三菱東京UFJ銀行・江戸川橋支店(普通)1215225
◎ゆうちょ銀行・〇一九(ゼロイチキュー)店(当座)0188872

クアンチで中部解放四〇周年記念式典が開催される

JVPF理事 赤木 達男
(広島ベトナム平和友好協会 専務理事)

五月一日、ベトナム中部のクアンチで「中部解放四〇周年記念式典」が開催され、広島ベトナム平和友好協会(HVPF)から六名が参加しました。

クアンチはかつて軍事境界線(一七度線)が敷かれ、ベトナム民族を南北に分断する地であると同時に、最も激しくベトナム戦争が闘われた地でした。

ベトナム解放二年前、そのクアンチは、一日に「六〇名が戦死した」といわれる「クアンチ古城八一日間の戦い」で解放されました。

その後の「戦争を終結させ平和を回復する」ための「アメリカ軍の完全撤退」が盛られた「パリ和平協定」調印と一九七五年四月三〇日の全土解放への歩みを切り開いた戦略的な勝利を記念する式典は、ベトナム共産党フイ



40周年記念式典の赤木団長(中央)



持参した折り鶴を慰霊に供える

ン政治局員をはじめホーチミン市や各省政府首脳が出席する盛大で荘厳な式典でした。

式典の前日には、ハノイの大学からクアンチに赴き、「八一日間のクアンチ古城戦」を戦ったMr.Dungをはじめ多くの元学生突撃隊員と犠牲者慰霊式に参列しました。

慰霊式には、HVPFが奨学支援金を贈っているクアンチ省少数民族寄宿高等学校の生徒。昨春秋、私たちが橋渡しし、東広島市立西条中学校と「姉妹校提携協定書」を交わしたタンコー中学校の生徒たちが参加していました。

八一日間のクアンチ古城戦を闘い、平和を切り開いた元学生突撃隊員と次代を切り開く若い子どもたちが、戦士の眠る「古城」に立ち、誓いを交わす。

「中部解放四〇周年記念」の一連の行事に参加し、何よりも激しく過酷な戦いと甚大な犠牲の上にもたらされた解放の歴史を風化させず、今なお大地と人々に残っている戦傷を克服しながら豊かな国づくりを進めているベトナムの人々の平和への強い意思を感じました。

同時に、捨てたはずの武器を手に、再び過ちを繰り返そうとする日本の現状と重ね、あらためて「平和の原点ヒロシマ」に生きるものとして、クアンチに学ばなければと心に刻みました。

第一期奨学生、 優秀な成績で卒業

「中部解放四〇周年記念式典」の翌日、五月二日には、クアンチ省少数民族寄宿高等学校の卒業式に出席しました。

二〇〇九年に始めた奨学支援活動、その「第一期奨学生」(二〇名)が、とても優秀な成績を収めたことがリン校長から報告されました。

今年のクアンチ省の成績優秀生に一七名が入り、その成績優秀上位五名を、広島ベトナム平和友好協会から奨学支援を受けている子どもたちが占めたということです。私たちにあって、どのような言葉よりも大き



今年の卒業生たちと

な励みであり、喜びでした。さつそく『サポーターだより』で報告するとともに「第四期サポーター」募集に入っています。

五〇年経て、 なお続く枯葉剤被害

今回、あらためて感じたことの一つが枯葉剤被害の問題です。五〇年経た今なお深刻な被害が続き、三世代から四世代に及んでいることを聞き、その実態に触れました。

現在、「HVPF設立五周年記念運動」を取り組んでいます。設立までの約一〇年にわたる活動の原点は枯葉剤被害の問題でした。また私自身、ベトナムとの関わりを持ってきた二〇数年の課題でもありました。核兵器の原爆被害、化学兵器の枯葉剤被害。ともに二〇世紀の戦争被害の象徴であり、その被害の実相にこだわり、告発し続けることが、これら大量無差別殺戮兵器を地球上からなくす道です。

七月にはフエ医科薬科大学のニャン教授を招き枯葉剤被害についての講演会を、八月には「ヒロシマ・ベトナム平和パネル展」を、九月には大阪総領事を迎えシンポジウムを、そして一〇月には四回目を数える「枯葉剤被害見救援のためのベトナム民族アンサンブル・チャリティーコンサート」を計画しています。

ベトナム民族の魂が宿る 「ディエンビエンフーを訪ねる」

平松伴子

ディエンビエンフーは「勝つまで戦う」ベトナム民族の魂が宿っている所です。一度訪れたいと思っていました。

ディエン（平らな）ビエン（山辺の）フー（拒む）は文字通り「他の侵入を拒む山に囲まれた静かな盆地」です。戦勝記念碑が建つ丘から一望できる小さな町です。

一九五三年、この小さな盆地に大要塞を造り、ベトナム再侵略の最後の攻略にフランス軍は飛行場二ヶ所、大砲四〇門、兵士一万六〇〇〇人を集結させました。フランス軍の物量作戦にはアメリカ軍の大援助があったことは言うまでもありません。同年一〇月にはニクソン副大統領がニンビンで、またダニエル最高司令官がディエンビエンフーでフランス軍を激励。トンキン湾には爆撃機を搭載したアメリカ艦隊が待機していました。

最も重大なことは、劣勢のフランス軍にダレス国務長官が「原子爆弾を二個提供する」と申し出たことでした。幸い、フランスのジョルジュ・ビドー外相がこれを拒否。「原爆投下」



フランス軍司令部跡で

は免れましたが、後にアメリカは「ダイオキシンの枯葉剤」を大量に撒きました。フランスにとってディエンビエンフーはベトナム侵略の終焉地でしたが、アメリカにとってはベトナム侵略の入口だったのです。

ディエンビエンフーの戦いで、ホイチミン大統領とヴォ・グエン・ザップ将軍は「クエツチエン・クエツタン」決戦決勝「勝つまで戦う」を相言葉に兵士を励ました。盆地を囲む山の裏側ではベトナム軍が人力で戦車と大砲を引き上げ、山頂から盆地内のフランス軍に一斉砲撃を加えたのは一九五四年三月一三日。五月七日の総攻撃によりフランス軍は降伏。一万人の兵士が捕虜となり

ました。この時のフランス守備隊長はド・カストリ。「カストリ」って、酒好きな人なら一度は耳にした言葉ではありませんか？ と、ここまでは誰でも知っていることです。「クエツチェン・クエツタン」の本当の意味は盆地を囲む山中の深く分け入った所にあります。山の裏側から綱で戦車と大砲を引き上げた道は今も狭く急峻で、丸木橋のかかる危険な所です。その山中に防空壕を掘り、会議室・通信室・休憩室・台所などを含む司令部を設け、その跡が各所に残されています。

この司令部を支えたのは少数民族の農民でした。自転車で三〇〇kgもの物資を運び、米や野菜を前後の籠に入れて担ぎ、道なき山中を裸足で司令部まで届けたのです。司令部に向かつて延々と続く自転車隊と籠隊の列は、今も写真の中に生きています。「クエツチェン・クエツタン」はベトナム民族の不屈な魂の言葉として、戦勝記念碑の巨大な銅像に翻る旗にも刻まれています。

町の聖地である抗仏戦争記念墓地には戦死者銘板に各省ごとの戦死者名が刻まれています。そして、その前にある「無名戦士の墓」で、一つの墓に一本ずつ線香を供え祈りを捧げていく女性に遇いました。心が震えました。

村山日本語学校

第三期日本語修学高校生修了式

細谷久美子

五月二〇日、ホーチミン市のタンソニヤット空港から直接、学校に到着した。修了式開始前に、教務室を訪れた。室内の壁には「日本語能力試験」各レベルの標準と得点区分と合否の判例や「一週時間表」「人事・機構図式」「在校学生数の成り行き」と記されたものが張り出されている。

今年は一人の卒業生だと言う。司会は昨年と同じ日本語教師のランさん(Dang Thi My Lan)ある。

修了式は、トゥン副校長による開会の挨拶で始まる。続いて大西繁治JVPF理事長の来賓挨拶があり、理事長からは「日本語は決してやさしい外国語ではないと思うが、皆さんの努力には大変感心する。JVPFが日本語学校を開いたのは、日本とベトナムの両国民の交流が深まっている中で、日本の生活・文化に親しんでいたきたいという趣旨だった。その意味で修了生の皆さんには敬意を示すと共に、今後に大いに期待をしたい。」と述べられた。

続いてルオン校長の「三年間の教育の評価を行なう講評」が、ルオン校長お一人で、ベトナム語と日本語で交互に話された。

「この学校の目標は、三年間の学びの後、資格を取って留学を目指すこと。そのために特別のテキストをつくり、実施してきた。二〇〇七年は二四二人の学

生で、三〇人学級を八クラス出来た。二〇〇八年はこの学校だけではなく他の二七の学校から一〇九人が入り、競争心も出てきて辞める人も少なくなってきた。二〇〇九年は、中学校から高校へつなぐ正式の授業ということで募集をし、一年で五〇％、二年で三〇％の補償金を募り、学校において資格が取れたら補償金を返還するという奨学金方式と取ってきた。二〇一〇年には三〇人、二〇一一年には一八人、二〇一二年には一人の日本語修学高校生の修了生を出すことが出来た。

この後、一人の修了生一人一人に「修了証書」と記念の「村山富市記銘のシャープペン」がルオン校長より一人ひとり手渡され、全員での記念撮影となった。修了生からの「謝辞」はチャンさんが「日本留学の説明をしてくれることはありがたい。ここで勉強できたことは親のおかげ」と話され、在校生の「送る言葉」はリンさんから「努力の連続、継続した学びの重要性」を話された。

修了式終了後の「謝恩会」が卒業生、父母、先生方、JVPF団の参加のもと行なわれた。話は主として「留学」について話され、この日参加した学生の中では四人の留学希望者があり、二人はベトナムの大学を出てから日本へ留学したいと希望を述べていた。



JVPF大西繁治理事長も参列（前右）

日本語修学高校生育英基金状況 2012年5月26日

収入		
2010年度個人	1,239,000	2011年8月末締め/45人
2010年度団体	180,000	2011年8月末締め/3団体
2011年度個人	240,000	2012年5月末現在/15人
2011年度団体	60,000	2012年5月末現在/1団体
計	1,719,000	
支出		
2010年度送金	1,322,080	2011年8月末締め
2011年度送金	375,000	2012年5月末現在
計	1,697,080	
【収支計】	21,920	

※基金会計年度は9月期首の8月締めで、JVPF会計年度とずれます

第五回通常総会報告

活動基盤確立のための会員拡大を

五月二十六日（土）第五回通常総会がルポール麹町で開催されました。総会は、砂川保・副会長の開会挨拶をもって、議長に佐藤副会長を選出し進められました。提案された二〇一一年度事業報告、二〇一二年度事業計画、二〇一一年度活動計算、二〇一二年度活動計算計画、役員およびNPO法改訂に伴う定款変更など提案された全ての議案が満場一致で承認されました。

また、村山会長は「障害と困難を乗り越えることが大事であり、運動を広げて会員と基盤拡大が友好を深めるための課題である」と挨拶されました。

総会には、新たに赴任されたドン・ファン・フン大使も参加され来賓挨拶を受けました。総会後、平松伴子会員の「平和・友好・民族勲章授章と細谷久美子会



来賓挨拶いただいた
ドン・ファン・フン大使（中央）

員の「枯葉剤に遭った子どもたち」出版を祝する懇親会を催しました。

二〇一二年度事業計画

【組織活動】

二〇一二年度は、JVPF活動開始十二年目となります。NPO法も改正されましたので、寄付控除可能な『認定NPO』を目指し、身の丈に沿いながら、一つずつ進めていきたいと思います。

① 支部（あるいは友誼関係組織）づくりを促進し、ベトナム側の地方との友好関係あるいは縁組を進めていきます。

② 会員拡大を進め、基本的に会費をもつてJVPFの運営ができるように展開していきたいと思っています。

そのため、支部（あるいは友誼関係組織）

結成促進との会員拡大にかかわる、二重会費の問題を整理していきたいと思っています。

③ JVPFの活動費作りに寄与しているベトナムアンサンブルコンサート事業を成功させることに努めます。

④ 会報「ホアンビン・レポート」年二回、「会

員連絡報」年二回を発行していきます。

【事業】

1、教育支援事業(1)——少数民族出身高校生奨学金支援フウト省、クアンチ省、ニイビン省ではそれぞれに主管団体で管理運営をして進めていくこととし、JVPFはベトナム側との総括的な協議を手助けすることにします。

同時に、新たに支部あるいは友誼関係組織のベトナム側地方組織との縁組を進め、それぞれに奨学金支援を進めていくことにします。

また、奨学金事業に付随した事業として、ベトナムの文具会社から申し出のある五〇万円規模の文具支援を計画していきます。

2、教育支援事業(2)——村山記念JVPF日本語学校

2、教育支援事業(2)——村山記念JVPF日本語学校

2011年会計年度貸借対照表

I、資産の部	
1、流動資産	
現金預貯金	25,130
未収会費①	305,000
流動資産計	330,130
2、固定資産	
固定資産計	0
資産の部計	330,130
II、負債の部	
1、流動負債	
短期借入金	535,401
会費前受け金	40,000
未払い費用	120,000
流動負債計	695,401
2、固定負債	
長期借入金	120,000
回収不可未収会費	362,500
固定負債計	482,500
負債の部計	1,177,901
III、正味財産の部	
前期繰越正味財産額	248,378
当期正味財産増減額	-1,096,149
正味財産額合計	-847,771

新三カ年計画に基づく「日本語修学高校生育英基金」をもって支援を継続し、学校運営の自立を目指します。

また、基金が目標額に未達成なので、継続して協力を呼び掛けていきます。卒業生の日本留学のために支援を行っていきます。

3、国際協力事業(1)——枯葉剤被害者支援キャンペーン

枯葉剤爆弾被害者追跡記録DVD『それでも私は生きてゆく』での上映キャンペーン活動を継続していきます。

4、国際協力事業(2)——枯葉剤爆弾被害者支援キャンペーン

2011年度活動計算書（決算）

I 経常収益	
1、会費収入	770,000
2、事業収入	1,348,018
3、補助金収入	0
4、寄付金	582,000
5、その他の収入	38,014
経常収益計	2,738,032
II 経常費用	
1、事業費	2,374,100
2、管理費	983,946
3、未払金	113,635
4、借入金返済	0
経常費用計	3,471,681
当期経常増減額	-733,649
III 経常外収益	0
IV 経常外費用	-1,096,149
次期繰越正味財産額	-847,771

2012年度活動予算

I 経常収益	
1、会費・入会金	735,000
2、事業収益	3,000,000
3、その他の収益	50,000
経常収益計	3,785,000
II 経常費用	
1、事業費	2,560,000
2、管理費	890,000
経常費用計	3,450,000
当期経常増減額	335,000
III 経常外収益	305,000
IV 経常外費用	655,401
次期繰越正味財産額	-863,172

害者「自立支援プログラム」

タイピン省リハビリ施設で、これまでの廃品ビニール「エビストラップ」製作の支援に加えて、刺繍絵製作支援を考えていきます。このため、日本各地の名所旧跡をモチーフにした刺繍絵製作・買取に協力します。

また、「滞在ボランティア」(二〇一二年八月)、慰問団派遣(二〇一二年一月)を計画していきます。

5、国際協力事業(3)——ベトナム民族アンサンブルチャリティコンサート

二〇一二年度は、西日本を中心に開催していきます。今年は、前年度の収支赤字を解消し、枯葉剤爆弾被害者への支援金ができるよう開催回数を増やす努力をしていきます。*日程予定は、6面参照

6、国際協力事業(4)——会員及び企業の交流支援事業及び事業展開への協力

昨年に引き続き、会員や友好企業などのベトナムとのつながりを手助けし、相互の発展のために役立つ活動を進めます。

7、国際交流事業(1)——いけばな交流

二〇一二年一二月、いけばな作家・州村衛香先生の協力を得て、四回目となるデモンストレーションをニンビン省で計画していきます。

同時に、いけばな交流を通じた支援金創出のためハノイ市女性企業家協会と協力し「いけばな交流基金(仮称)」設立を目指します。

8、国際協力事業(2)——村山日本語学

校高校生夏季日本研修
体験者が日本留学するなど一定の成

果が上がっていますので、継続し計画していきます。

二〇一二年年度役員

会長	村山 富市
副会長	川 渕 映子
理事	佐藤 晴男
副理事	砂 川 保
事務局長	富岡 勉
事務局次長	松浦 正美
	大西 繁治
	鎌田 篤則
	及川 光行
	宝田 公治

奨学生の卒業生 15 人の中から優秀な学生に贈られる「報奨金」を貰ったディン・チー・ヴァンさんは、帰途に着くJVPF訪問団に手紙を託してくれました。

拝啓

わたしは、23日に皆様卒業式においでになることを聞いてとても嬉しかったです。今日、わたしは皆さんの健康と幸福を祈念して、初めて手紙を書いています。そして、将来、わたしと同じように多くの学生が奨学金をいただいて、ベトナムと日本の平和と友好のために役立つことを希望しています。

三年間、わたしは日本のJVPFの方から奨学金をいただいて、とても嬉しく感謝しております。わたしにとって奨学金は大きな意味がありました。奨学金のおかげで生活のことだけでなく本を買ったり試験の対策書を買ったり、本当に助かりました。

また、JVPFの方から「優秀者への報奨金」をいただいただけで涙がでました。なぜなら、わたしの父は今病気ですので、報奨金のプレゼントはわたしの心に浸みました。

わたしは、タイグエンの師範大学とハイズウンの医療技術大学の試験を受ける予定です。どちらかの大学に進学する予定です。

わたしはJVPFの方々から援助いただきましたので、卒業試験と大学受験試験は必ず張って優秀な成績をとることを約束します。

敬具

2012年5月21日 フートで

皆さんの孫娘

ディン・チー・ヴァン (Dinh Thi Van) より

一五名の第二期フート省 少数民族高校奨学生の 卒業を祝って

JVPF副会長 松浦正美

(NPO法人ウオーター・ビジョン理事長)

五月二三日(水)、一五名の第二期フート省少数民族高校奨学生に卒業記念品の贈呈と最も成績優秀な生徒二名に特別奨学金を贈呈するために、フート省少数民族高校を訪問しました。

二〇〇八年の夏、奨学金の授与の打合せに訪問して以来、毎年二回訪問しているため、今回で九回目となる訪問。卒業生に記念品を贈呈するための訪問は、昨年に続いて二回目となりました。

昨年卒業した生徒一五名は、ハノイ医



今年の奨学生の卒業生たち

科大学やフーヴァン大学、ハノイ師範大学など九大学に全員進学することが出来る校長先生はじめ教職員の皆様は、大変喜んでいました。

また、奨学生を含めて卒業生一二〇名の内、七五名が大学や専門学校に進学できたことを大変喜んでいましたし、今年の卒業生は、昨年の実績を上回ると自信をもって話していました。

今年は、成績優秀で特別奨学金を贈呈したハーティキエウアインさんは、財政大学への進学を、ディンチーヴァンさんは、師範大学か医療技術大学へ進学したい目標を持って、毎日五時間の勉強をしていると、話していました。

最後に今年始めて経験したことを報告いたします。奨学生は、皆さん出身の民族が分かるような服を着ているが、今回は、同じ柄のポロシャツやTシャツを着ている三つの集団があり、大変目立った。その訳は、卒業生の四クラスの内三クラスで、三年間の共同生活の記念品としてクラス全員で考えたクラス独自のシャツを制作したと話していた。日本の高校では、考えられない全寮制高校の素晴らしさを実感しました。

日本・ベトナム平和友好連 絡会議福岡が結成される

高木豊彦

三月二十九日、日本・ベトナム平和友好連絡会議福岡の結成総会を行いました。また、会長には福岡教育大名譽教授松尾祐作氏が選任されました。会員数三五名の小さな旗揚げですが、今年度中には五〇名の会員化を目指し、組織作りをすすめることを誓い合いました。

また、あわせて、二〇一二年は、二つの事業を進めることを意思統一しました。

一つは、言うまでもなく、ベトナムチャリティーコンサート成功ということ。福岡では、二〇〇〇年からこのコンサートを始め、今年で第六回目の開催となります。コンサートに賛同していただける団体、労働組合、個人でコンサート実行委員会をつくり、協賛金や助成金等をいただきながら開催してきました。今年も三〇〇名の参加者を目標に成功させようと思っ統一しました。

もう一つは、ベトナムとの交流活動の活発化という視点から、今年の一〇月にハノイ大学日本語部に交流促進センター（仮称）を開設することを決めました。このプロジェクトは、日本語部との交流を進めていく中で、交流の拠点となる組織があれば、今後はもっと交流が深まり、

より関係が緊密になるのではということから構想づくりがはじまり、今年に入り、具体化したものです。

七月には、センターの改築工事もはじまり、一〇月には開設する予定です。福岡県とハノイ市は友好姉妹都市でありこのセンターを拠点に大学生をはじめ、多くの人たちが交流を深めることができると考えています。



2012ベトナムアンサンブル公演日程

20箇所開催を予定しておりますが、2012年度の公演開催地が不足しております。募集中の近隣で開催の可能性ありましたら、是非、ご紹介をお願いします。

10月09日(火)	開催地募集中
10月10日(水)	開催地募集中
10月11日(木)	開催地募集中
10月12日(金)	福岡市内(確定)
10月13日(土)	宮崎・日向市/中央公民館ホール
10月14日(日)	(調整日)
10月15日(月)	鹿児島・南さつま市/市民会館ホール
10月16日(火)	宮崎市/市民プラザホール
10月17日(水)	別府市/別府市中央公民館ホール
10月18日(木)	熊本・松橋町/ウイング松橋ホール
10月19日(金)	広島市/アステールプラザ中ホール
10月20日(土)	開催地募集中
10月21日(日)	(調整日)
10月22日(月)	松山市/市民会館中ホール
10月23日(火)	香川・さぬき市/志度音楽ホール
10月24日(水)	高知市/県民文化ホール・グリーンホール
10月25日(木)	開催地募集中
10月26日(金)	東広島市/特別公演(小中学校)
10月27日(土)	東広島市/中央生涯学習センター大ホール
10月28日(日)	(調整日)
10月29日(月)	さいたま市/市民会館おおみや小ホール
10月30日(火)	神奈川・藤沢市/市民会館小ホール
10月31日(水)	東京都内(予定)

◆ 掲示板 ◆

購入・支援されています。
各地の賛同をお願いします。

●埼玉JVPFによって「中部クアンナムでの枯葉剤爆弾被害者支援訪問団」が八月一日より、取組まれ、簡易医療器具などの支援が検討されています。

●継続してきてるタイビン省リハビリ施設での「タイビン・ボランティア」が八月一八日〜二三日、取組まれます。参加者募集中です。

●村山日本語学校の日本語修学高校生育英基金の二〇一二年度(二〇一二年九月開始)募集を行っています。

●最終年度となりますので、是非とも皆様の協賛をお願いします。

●JVPFの協力によって明治大学マンドリン倶楽部ハノイ公演が二〇一二年九月一五日開催されます。

●二〇一二ベトナムアンサンブルチャリティーコンサートが10月開催されます。開催地が不足していますので、開催地紹介をお願いします。

●継続していましたが「いけばなデモンストレーション」は、昨年、開催地の都合で中止となりましたが、今年にはニンビン省で一月三〇日、二月一日開催されることになりました。今回も草月流いけばな作家の村衛香先生の協力によって行われます。